



# 令和6年度 真野中学校グランドデザイン

佐渡市教育大綱 基本理念 明日の佐渡を創る人、世界と友に生きる人の育成 ～一人一人の自己実現を目刺しと教育の推進～  
 基本方針 (1) 佐渡を知り、愛し、誇りとし、社会的自立を目指す人づくりの推進  
 (2) 生涯学び活躍できる環境づくりの推進 (3) 家庭・地域の教育力の充実

校訓  
 立志力行  
 協力親和

## 教育目標

豊かな人間を目指し たくましく生きる生徒

## 学校経営スローガン

自分が好き、仲間、学校が好き、  
 地域が好きな生徒の育成  
 ～ 前進 ～

真野中で大切に  
 する「3つの心」  
 ○感謝する心  
 ○素直な心  
 ○努力する心

## 重点目標

- 広い視野をもち、自ら進んで学習に取り組む
- 心身ともにたくましく、ねばり強くやりぬく



共に生きる力  
 豊かな心と感謝する心

- 協力性 ○郷土愛 ○相互尊重
- 真野中「3つの心」

真野中で目指す  
 「4つの力」

確かな学力

- 主体的に学ぶ
- 学習規律・学習習慣

たくましさ・体力

- 基礎体力
- タイムマネジメント力
- 心のしなやかさ

SDGsの視点を取り入れた系統性ある教育活動

活動に向かう力(意欲・主体性)

- 自己決定 ○自己存在感・自己肯定感・自己有用感 ○共感的理解(相互尊重)

・デジタル教材(GIGA  
 スクール)の効果的活用  
 ・小中連携の強化  
 ・学校行事でのPTA  
 活動の見直しと充実

三者の確かな信頼  
 ～生徒、教職員、保護者・地域～  
**コミュニティ・スクール**

特別活動の充実  
 生徒会スローガン  
 「○○○○」

## 生徒への願い

- 学ぶ楽しさ・分かる喜びの実感
- 思いやりと自己有用感の高揚
- 郷土を愛し、誇りとする心情の育成
- 危険予測・危機回避能力の獲得

## 教職員の願い

- 現在地の自覚と目的を意識した教育活動
- 認め、伸ばす教育
- 個々の良さと能力を活かして支え合う「チーム真野中」
- 保護者・地域との連携・協働

## 地域・保護者の願い

- 安心・安全な教育環境
- コミュニティ真野の存在
- 学校・地域の互惠的関係
- 「真野っ子」プロジェクト

真野小学校 教育目標 ゆたかに かしくたくましく伸びる 真野のよい子  
 真野小6年間の学び



# 真野中で目指す「4つの力」と主な教育活動

### 確かな学力

- 授業規律の確立と徹底
- 基礎・基本の確実な定着
- 「主体的・対話的で深い学び」のある生徒が主役の授業づくり
- 家庭学習習慣の定着と質的向上

- 学び合う集団の育成
  - ・「学習オリエンテーション」をはじめとする学習ルール徹底場面の設定と指導
  - ・班学習の継続や「全校学習会」等による学び合う雰囲気醸成
  - ・係・生徒会活動による取組



- 継続的・効果的な授業改善
  - ・学習意欲を喚起する教材や学習課題の提示(「学ぶ楽しさ」を実感させる)
  - ・ICT機器の効果的活用
  - ・小集団を活用した学び合いの設定(「学ぶ楽しさ」と「深い学び」を実感させる)
  - ・「まとめ」と「振り返り」の確実な実施(「分かる喜び」を実感させる。「まとめ」で基礎・基本の定着、「振り返り」で深い学びを)
  - ・一人一公開授業の確実な実施
  - ・職員研修の充実



- 家庭学習習慣の形成
  - ・「学習の手引き」の効果的活用
  - ・宿題ボードの活用
  - ・自主学習ノートの点検と指導
  - ・「全校学習会」の効果的な実施
  - ・家庭学習強調週間の効果的な実施
  - ・キャリア教育の推進

### 共に生きる力

- 道徳教育の充実
- 道徳教育と特別活動の連動
- 異学年・異校種交流や地域住民とのふれあいの深化



- 道徳の授業の充実
  - ・「考え、議論する道徳」の実践
  - ・年間指導計画に基づく確実な授業実践と的確な評価
  - ・指導方法の工夫



- 総合的な学習の時間の充実(総合郷土)
  - ・**鷺流狂言、文弥人形、佐渡おけさ、和太鼓、小物作り、茶道、リコーダー、ダンス**、から選択
  - ・地域人材の活用(学年総合)
    - ・「佐渡学」の展開
      - 1年 ふるさとから学ぶ
      - 2年 社会に目を向けよう
      - 3年 ふるさとの将来を考える

**特色ある教育**



- 課題解決型職場体験学習の実施
  - ・キャリア教育との連携
- 「真野っ子」プロジェクトの実施
  - ・クリーン作戦
  - ・地域合同防災学習

**特色ある教育**

### たくましさ・体力

- 運動時間・運動量の確保
- 心のしなやかさの育成
- 健康・食・環境への理解と実践
- タイムマネジメント指導による健康な生活習慣の形成

- 身体的能力の向上
  - ・体育授業の工夫と充実
  - ・部活動での意欲的取組
  - ・体力向上と耐性強化を目指した特設陸上・駅伝への積極的参加



- 健康・食育教育の充実
  - ・自己管理能力の育成と健康の増進
  - ・歯の健康指導の実施
  - ・食育指導の充実
  - ・保健だよりの充実
  - ・家庭との連携強化
  - ・学校保健委員会との連携



- タイムマネジメント能力の育成
  - ・生活ノートやテスト計画表等での助言
  - ・小中連携メディアコントロールウィークの実施
  - ・たより等の活用
  - ・家庭との連携強化

## 活動に向かう力(意欲・主体性)

- 「生徒指導の実践上の4視点※」を活かした教育活動
- 認めて伸ばす教育の推進
- 所属感があり、共に高め合う集団づくりの推進
- 人権尊重の精神が流れる学校風土

※(自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安心・安全な風土の醸成)

- 生徒主体の学校行事・生徒会活動の充実
  - ・支援的なリーダーの育成
  - ・意図的・計画的な事前指導と成功体験の拡充
  - ・話し合い活動(委員会、評議員会、部長会等)の充実

- 支持的風土と協働性にあふれる集団づくり
  - ・あいさつ運動の継続と充実
  - ・誰の意見でも尊重される思いやりのある集団づくり
  - ・意図的な集団活動や話し合い活動等の充実による豊かな人間関係の構築
  - ・生徒の手による自治的な学校生活の構築
  - ・アンケートや客観的検査による集団の実態把握と改善

- いじめの未然防止と見逃しゼロ
  - ・いじめ防止学習プログラムの充実
  - ・アンケート調査、教育相談の実施と支援
  - ・毎週の定例生徒指導部会の充実
- 不登校の未然防止
  - ・全教職員の共通理解と共通実践
  - ・スクールカウンセラー、通級指導員との連携強化
  - ・関係機関との継続した連携(あすなろ教室・子若センター等)